

第31回小出記念日本語教育学会年次大会

日時：2022年6月25日（土） オンライン開催

参加費：会員 無料 非会員 2,000円 申込締切：6月17日（金） 定員：400名
事前申込登録：会員の方はMLをご参照ください。 非会員の方は以下よりお申込みください。

<https://koide31th220625.peatix.com>

◆ ◆ ◆ 講演 ◆ ◆ ◆

10:30~12:20

「日本における移民の現状と移民政策－移民労働者受け入れ政策に着目して－」

【講師】 高谷幸氏（東京大学大学院人文社会系研究科 准教授）

【要旨】 2010年代後半は、技能実習生や留学生などの移民が増加し、人口不足の労働現場を支える移民労働者の存在感が増した時期だった。こうした状況を背景に、2018年には特定技能労働者の受け入れを決める入管法改正が行われるなど、移民政策に関わる新しい動きも生じている。こうした動きは、移民政策の不在と言われてきた過去30年間の政策を転換させるのだろうか。日本における移民の現状と政策の流れを跡づけながら、近年の移民政策の変化について考えたい。

◆ ◆ お昼休憩 ◆ ◆

12:20~13:20

◆ 口頭発表 ◆

13:20~16:30

【第1会場】

【第2会場】

① 程度副詞「とても」の使用実態 - 「日本語話し言葉コーパス」調査より-

日暮康晴（筑波大学大学院生）

② 自然会話における自称詞の出現

小森由里（立教大学）

③ 「破壊」に関連した多義和語動詞の意味拡張パターン

- 語彙能力の上位・下位群の中国人日本語学習者と日本語母語話者の比較 -

張婧禕（宮崎大学） 玉岡賢津雄（湖南大学・名古屋大学） 王雷（東華大学）

④ 教師による「補充の問いかけ」と学習者のチャットによる反応の分析

- 中国の同期型オンライン初級日本語授業の観察から -

李迅（京都外国語大学大学院生）

⑤ 中国語を母語とする日本語中・上級学習者は非対面会話素材を聴いてどう理解するか

岡部康子（静宜大学）

⑥ 日本語テストの選択枝数の変更が項目の正答率と識別力に与える影響

渡邊百里（新宿日本語学校）

① サービス日本語教育における日本語教師支援ツールの開発と評価

- ホテルレストラン業務に特化したCan-doリストとルーブリック評価票 -

佐野邦治（ANS日本語学院）

② 初級日本語クラスにおけるスピーチ自己評価活動

- メタ認知の観点による分析から -

渡辺倫弥・大住あかり・篠崎佳恵（東京国際大学）

③ レベル差のある日本語学習者を対象としたL1でのピア・リーディング

- フランス語話者の相互行為を量的・質的に分析する -

東田真里（ニューカレドニア大学）

④ 初級からの多読習慣：通常授業の中に取り入れた短時間多読の実践報告

高橋温子（スミス大学） クック史子（テキサス大学）

⑤ ブレンディッドラーニング環境におけるe-learning教材の利用に関する研究

- SCATによる分析を通して -

天野裕子（関西大学）

⑥ 大学生・大学院生の多言語習得における読解力に与える背景的影響

結城佐織（アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター）

詳しいプログラムはウェブサイトをご参照ください。プログラムに変更があった場合もこちらでお知らせいたします。 <https://koidekinen.org/>

小出記念日本語教育学会事務局 〒181-8585 東京都三鷹市大沢3-10-2 国際基督教大学日本語教育課程 小澤研究室気付

主催：小出記念日本語教育学会 / 後援：国際基督教大学 グローバル言語教育研究センター

